

HOP, STEP, JUMP in 標津

萌える海と大地 さわやか交流郷

1

No.455/2005

広報しべつ



A HAPPY 「みんな笑顔の酉年。今年は良い年に…」 **NEW YEAR**

今年の酉年生まれの413人(男206人、女207人)。

「今年は良い年でありますように」と、35人が笑顔で表紙を飾ってくれました。

(写真左上から) 長谷川隼人、花田裕次、西須涼、門脇美徳、田中長末、神内彩花、中村麻衣子、久保遥、三田俊勝、大角ミヨ、米持章、森井ヒサコ、
浮田卓、川上祐弥、酒井一樹、大垣正子、吉田國吉、若杉松代、高橋重雄、仲谷佳子、滝田実代、村元優里、高橋良夫、畠山拓代、
水口栄作、斉藤俊己、出口和、杉本蘭香、池本采加、山形有里、猪股佳季、内村望恵、池田侑平、山崎幸代、菊池雅 (敬称略)

ごあいさつを申し上げます

町

民の皆様 新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた新春を皆様とともに迎えできましたことを謹んでお慶び申し上げますとともに、昨年中、町政各般にわたり皆様から寄せられました一方ならぬご支援・ご厚情に対しまして心よりお礼を申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、国内各地で台風の上陸、地震、噴火、集中豪雨など住民の生命、生活の安全が危機に曝される災害が多発し、本町におきましても新潟中越地震の余韻覚めやらぬ十一月二十九日とその一週間後の二度にわたり、平成六年の北海道東方沖地震の恐怖を思い起させるような大きな地震に見舞われるなど、自然災害の恐怖に戦った一年でありました。

このような状況の中で、本町にとりましては、開町以来の歴史を揺るがすような出来事のひとつとして、中標津町及び羅臼町との合併の可否を問う住民投票が去る六月十三日に執行されました。

市町村合併問題への取り組み

みにつきまして、二年前から住民への合併に関する情報提供に始まり、その間、幾度にもわたる住民、団体等との懇談、意見交換を経て、それぞれ自立・合併と立場の違いがありましたが、生まれ育った郷土への愛着、自然・産業、生活文化に寄せる想い、また人々のつながりなど、多くの



標津町長 小田桐 四郎

しての責任、また議会制民主主義における議員としての責任から、このように非常に難しく、重たい判断を住民の皆さんに背負わすことが正しい判断かどうかと言う葛藤が常に渦巻いておりましたが、最終的に町、議会の総意をもって住民投票の実施を決断したところであります。

投票結果は、投票率七四・五

九%、うち、合併

しないを選択した

票数二千五百四十

七票（得票率七

二・七五%）、合

併するを選択した

票数九百五十四票

（得票率二七・二

五%）をもって、

自立の道が選択さ

れました。

また、もうひとつの特筆す

べき出来事として、二〇〇二

年冬季、昨年の夏季オリンピ

ック両代表として活躍されま

した本町出身の大菅小百合選

手へ、今日までの自身のご努

力を賛え、町民の皆さんに与

えた感動、希望に感謝し、町

民一同称賛の拍手をもって、

さ

本町第一号となる町民栄誉賞を贈らせていただきました。

で、迎える新年は、

住民が総意をもって自立を選択した

ことを受けて、本町にとりま

しては郷土再生元年とも言え

る非常に大事なスタートの年

を迎えることとなりますが、

現下の地方自治体を取り巻く

情勢は、国の掲げる三位一体

の改革の動向から、自立・合

併といずれの道を選択したと

しても小規模自治体の場合

は、財政的に非常に厳しい状

況に置かれると言われるとお

り、本町もまた、いばらの道

を歩むこととなりますが、行

政、住民がともに痛みを分け

合い、協働の精神を基本とす

る六千町民の総意をもって、

町づくりの行動目標でありま

す「郷土再生に向けた自立プ

ラン」を推進し、めざす町の

姿「小さくとも美しく楽しい

活力のある町」標津町の実現

に一層の努力を致す所存であ

りますので、皆様の一層のご

支援・ご協力をお願い申し上

げます。

新年を迎えるにあたり、所

信の一端を述べ、町民の皆様

謹んで新春の

にとりまして本年が最良の年でありますようお祈り申し上げます。新春のごあいさつといたします。



町

民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成十七年の新春を皆様とともに迎えることが出来ましたことを謹んでお慶び申し上げますと共に、昨年中は議会運営はじめ議会活動に深いご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

顧みますと、迎える年が平穏で事件や事故、災害のないことを皆さんと一緒に願っておりますが、国の内外を問わず、戦争や紛争、悲惨で直視出来ないテロ事件など数多く発生し、尊い人命が失われています。

また人為的環境破壊によると思われる地球規模での温暖化による異常気象で過去になかった急速な干ばつや、大洪水、暴風それに自然現象異変での地震災害は想像を絶する大規模で被害は年を追うごと拡大して来ており、取巻く環

境や自然の変化が憂慮されています。

国内においては、過去にならぬ数多くの台風が上陸、特に台風十八号は死傷者が多く出る大型で、被害も海や陸上で拡大しました。また、十月二十三日発生した新潟中越地震は強震度で家屋の倒壊やガケ崩れ、道路の陥没、橋の流失



荒谷 良治 標津町議会議長

害が出ており、最近再び大きな震度の地震が続いており充分気をつけなければならないと思います。

行財政改革に伴う平成の大合併では、全国的に合併特例債の期限が切迫するに依り急速に各地域の動きが見られています。

標津町は四町の任意合併検討協議会から時間不足で先延しをし、町と議会特別委員会と協議を重ね最終判断として住民意志の確認が必要と結論

四月三十日開催の臨時議会で「標津町が中標津町及び羅臼町と合併することについて可否を問う住民投票条例」を可決、投票日は六月十三日として執行されました。

結果は投票率七四・五九％で合併しない二千五百四十七票、合併する九百五十四票、無効七十八票となり、町民の意志を尊重し、六月十六日開催された第二回標津町議定会定

標

例会に於いて合併しないことを全会一致で可決しました。

津町は自立に向けて歩み出した訳で、国の三位一体

改革も地方六団体が求めた地方自治の最低必要要求に至らず、厳しい財政運営が続くものと思われますが、住民福祉の増進や生活環境整備、産業基盤確立など町民との協議での町づくりの専念しなければなりません。もちろん長期財政の収支と基金の推計については再検討し、「郷土再生に向けた自立プランへの取り組み」の充実を図らねばなりません。

議会としても町民と共に進んだ自立の道であり先輩方が築いて来た伝統と歴史、文化や風土を再認識し豊富な自然や産業の発展、地域の振興に決意を新たに課題解決に取り組み、標津町の将来に禍根を残さないよう、議決機関として最善を尽して参る覚悟です。

終りになりましたが、町民各位の益々のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

当

地方においても鉤路沖地震、十勝沖地震など大きな被

15人が喜びの受賞

平成16年度 標津町表彰式



平成16年度標津町表彰式が12月10日、生涯学習センター・あすばるで開かれました。

この表彰式は、本町の経済・社会・福祉・教育・文化などの発展に顕著な功績があった個人や団体に対し、町表彰条例に基づき表彰状を贈り、その功績をたたえるものです。

本年度は昭和40年に制定以来、初となる町民栄誉賞1人と、功労賞3人、貢献賞4人、優良勤労者7人の合わせて15人を表彰しました。受賞者を紹介します。

平

成十四年二月、本町出身者で初の冬季オリンピック（ソ

ルトレイクシテイ大会）への出場の快挙を成し遂げ、スピードスケート女子五百メートル二位に。昨年十二月に開かれたW杯長野大会でもスピードスケート五百メートルで、国内日本最高記録を塗り替えるなど、目を見張る活躍ぶり。さらに、自転車競技でも全日本大会で優勝し、世界選手権大会で日本記録を樹立。昨年八月の夏季オリンピック（アテネ大会）に出場。自転車競技女子五百



おおすが さゆり さん
大菅 小百合 さん
(本町出身・24歳)

町民栄誉賞

ル・タイムトライアルで堂々の十位と日本記録を更新。日本での夏・冬両オリンピック出場は、史上四人目の快挙に。本人の厳しい鍛錬と惜しみない努力の結晶がオリンピック代表として結実し、その勇姿は町民に夢と希望、そして大きな感動を与え、次代を担う青少年の希望として輝き続けるものであるとともに、本町にとって世界に誇れる人材を輩出できたことは、百二十五年の本町の歴史に輝きを刻むこの上ない栄誉です。

標

津町議会議員に昭和五十四年当選。以来六期二十四年間にわたり住民生活の向上、地域経済の振興に尽力。この間、標津営林署存置対策特別委員会委員長を始め、健康と福祉の村建設特別委員会委員長を務め、地域振興対策、福祉施策の展開に大きく貢献。

このほかにも総務常任委員会委員長などの重責を担うなど、議会の公正円滑な運営に尽力し、本町自治の振興に大きな功績を残されました。



やまもと つかさ さん
山本 司 さん
(川北・71才)

標

津村消防団に昭和三十三年に入団。以来、四



いわの よしお さん
岩原 芳男 さん
(茶志骨パイロット・70才)

自治功労賞

十六年間にわたり地域住民の生活安全確保のため、高邁な消防思想のもと、その使命達成に心血を注がれました。

この間、第三分団(川北)の副分団長、分団長を、平成七年からは標津消防団の団長を務め、その豊富な知識と経験を生かし、団員の指導育成などの充実を図り、地域消防・防災体制の確立と強化に尽力し、大きな功績を残されました。



むら けい じ さん
田 村 慶 司 (川北・71才)

標 津村消防団に昭和二十八年入団。以来、四十九年間にわたり地域住民の生活安全確保のため、高邁な消防思想のもと、その使命達成に心血を注がれました。

この間、第三分団(川北)副分団長、分団長を、平成十年からは標津消防団の副団長を務め、その豊富な知識と経験を生かし、団員の指導育成などの充実を図り、地域消防・防災体制の確立と強化に尽力し、大きな功績を残されました。

貢 献 賞

〈地域貢献賞〉



う え だ み つ お さん
上 田 光 夫 (川北・58才)

白

社のナイター設備の野球場を会場に昭和六十年から隔年で、冬祭り「ナイトイン川北冬のつどい」を開催。地域の若者に結集を呼びかけ、自ら実行委員長となつて物心両面にわたり地域をリード。これまでに十回開催し、企画や運営に尽力。地域住民の連帯を図り、管内屈指のイベントに仕立て上げ、多くの人々に冬の楽しみを提供するなど、地域振興に貢献されました。

〈地域医療貢献賞〉



お お の よ し た か さん
大 野 高 義 (北1西5・45才)

平

成八年から現在までの八年以上にわたり、標津病院院長として勤務する中、へき地医療の重要性に深い理解を示し、地域に密着した診療活動に精力的に尽力。これまでに患者との信頼関係を大きく培われました。

患者に対する的確な診断をもつて疾病状況に応じた治療を行い、住民の絶大な信望を得て、地域に根ざした医療体制の確立に貢献されました。

〈地域貢献賞〉



の し ょ う い ち さん
牧 野 昭 一 (中標津町・58才)

標 津町民祭り「水・キラリ」の「キラリ音頭」や「標津町賛歌」などを代表作とした本町のオリジナル曲の製作を手がけるほか、祭りの曳山巡行でのキラリ踊りの創作、お囃子の育成など祭りの発展と成功の立役者として活躍。

さらに町内の保育園・幼稚園の園歌を作成、寄贈。住民の心に安らぎと潤いを与える

〈地域貢献賞〉



よ し だ さ と し さん
吉 田 智 (川北・50才)

本

町の新たな祭りの創造を目的に平成八年から

音楽活動を通して本町の文化の振興と地域活性化に貢献されました。

祭り検討会議の座長として、「標津町民祭り 水・キラリ」を創作。平成十一年には祭り開催に漕ぎ着け、昨年まで六回を数え、町内外に誇れるイベントの仕掛けで活躍。一回目から実施運営委員長として、町民が一丸となつて取り組む協働の精神の具現化と未来に伝承されていく心の伝統文化の確立に尽力し、本町の地域活性化に貢献されました。

優良勤労賞



お の け い じ さん
小 野 啓 司 (川 北)
(55歳) 榊上田組



お の さ だ お さん
小 野 定 夫 (川 北)
(55歳) 榊上田組



た か は し よ し ち さん
高 橋 義 一 (川 北)
(55歳) 榊上田組



す が わ ら さん
管 原 千 ヨ (北3西3)
(58歳) 南長谷川菓子舗



せ き さん
関 エ ミ 子 (南1西4)
(58歳) 標津漁協産地加工センター



う え の さん
上 野 ス ギ (南6西2)
(63歳) 標津漁協産地加工センター



み や ざ き た く み さん
宮 崎 工 (川 北)
(55歳) 古瀬山林種苗農園

大菅選手 W杯(2度目の)優勝

国内最高記録、樹立

スピードスケート・ワールドカップ(W杯)長野大会が長野市のエムウエーブで行われ、女子五百メートルで出身の大菅小百合選手が国内最高記録の三八秒一三をマークし見事優勝しました。

W杯での大菅選手の優勝は、二季ぶり通算二勝目。会場には大菅選手の両親・一彦さん、はるみさんが応援に駆けつけ、おなじみになった「サーモンパワー」の横断幕が掲げられました。はるみさんによると、「スタートをきちつとやって、最初の百メートルいければ」と本人が話していたそう。W杯前半戦で「まさか表彰台とは」と本人も驚いていた様子だったと言います。表彰台では笑顔がはじけ(写真)、体全体で喜びを表していた大菅選手。これからのますますの活躍が期待されます。

写真は「大菅選手応援サイト」より

全国大会でブロック優勝

少林寺拳法標津支部・中学生チーム



十一月二十一日、名古屋市のナゴヤドームで開かれた少林寺拳法全国大会で、少林寺拳法北海道標津支部(稲村徳弥支部長)の中学生チームが最優秀となるブロック優勝を果たしました。

小学生から一般の部まで、全国から約四千八百人が参加。同支部の中学生チームは、技の正確さなどを競う中学生団体の演武に出場。中学生九十八組が六つのブロックに分かれ、そのうちのひとつで同支部のチームが見事優勝。メンバーは、いずれも標津中学校の山口一馬くん(三年)、長沼翔太くん(同)、陶山梨加さん(同)稲村果歩さん(二年)、長谷川聡美さん(同)、荒木啓佑くん(同)、笹木惇志くん(同)、佐々木結同の八人。また、同支部の小学生も出場し、ブロック優勝は惜しくも逃しましたが、基準以上の演武内容が認められ、優秀賞を受賞しました。稲村支部長は「全国大会に向け、気持ちを一つにして練習に励んできた成果だと思っています。選手は本当によく頑張った」と健闘をたたえていました。

近藤さん、故竹下さん 「旭日単光章」に輝く

十一月二十八日に近藤儀之進さん(写真右)に、十二月十五日に故竹下恵隆さん(同左)に旭日単光章が伝達されました。

近藤さんは、農業のかた

わら、昭和三十年から昭和五十八年までの通算三期十

二年にわたり町議会議員を務め、また、農業委員として十四年間農地行政に携わるなど、地域産業の振興と住民福祉の向上に尽力されました。

故竹下さんは、昭和五十八年から四期十六年にわたり町議会議員を務め、産業経済を中心とする生活環境の整備などに尽力。また、町商工会理事などの役職に就くなど幅広く活躍されました。



伝達は、それぞれ村井茂根室支庁長から行われ、近藤さんは「身に余る光栄。地域の皆さんの支えがあったからこそ」と話し、故竹下さんの妻の力ヨさんは「皆さんに支えられてきたお陰で、感謝しています。夫の良い供養になります」と話しています。

川崎市で標津の海の幸をPR



「標津ブランド」を全国に広めようと、町と町地域ハサップ推進委員会が主催。一昨年に札幌グランドホテルで開いた同フェアの第二弾として、昨年十月に本町を訪れた川崎市地域女性連絡協議会の協力で開催することになりました。

当日は、NHKアナウンサーで、本町との関わりが深い国井雅比古さんが「食の旅と産地の魅力」と題して本町の魅力などについて紹介。試食会では、「帆立貝のカルパッチョ」や「サーモンフレークのシーザーサラダ」など十品に、会場を訪れた約百二十人が、標津の海の幸に舌鼓を打ちました。

標津産の魚介類などの地場食材を使用した料理試食会「キラリ標津町フェアin川崎」が十二月十一日、神奈川県川崎市のレストランで開かれました。

二弾として、昨年十月に本町を訪れた川崎市地域女性連絡協議会の協力で開催することになりました。

当日は、水産加工品などの即売会では、イクラやサケ切り身が完売になるほどの好評ぶりでした。同推進委員会では「地域ハサップやエコ・ツーリズムなどの標津の取り組みを知ってもらうことで、首都圏でも標津ブランドを確立させていきたい」と話しています。



今井さん北海道 社会貢献賞受賞

長年にわたる地域の森林の保全や森林づくりなどに貢献した功績が認められ、12月16日、北海道社会貢献賞(森を守り緑に親しむ功労者)の表彰式が札幌市内のホテルで開かれ、今井忠一さん(82歳・北3西3)が受賞しました。

今井さんは昭和55年から根室支庁森林保全巡視員を、同58年から標津町町有林巡視員として活躍。受賞にあたり今井さんは「地域や関係機関の皆さんの協力があってこそ」と喜びをかみしめていました。



原 中 隆 志 さん

(川北桜ヶ丘町)

TAKASHI HARANAKA

声

を出すことで心が
つながり、それが
ボールをつなげる
ことになる。だから『声を出

vol. 32



せ！』といつも子供たちに指導しているんです」。川北小学校のバレーボール(女子)少年団「標津川北スマイル」の監督・原中さん(同校教諭)は力を込めて話します。

原中さんは、五年前に同校に赴任したその翌年から監督に。団員は現在二十三人。ここ数年めきめきと力をつけ、一昨年(平成十五年)はペプシ

「バレーボールを通じて 心も強くなっている」

は「スマイル(笑顔)」。「標津川北スマイル」にチーム名を変えたのは原中さんが監督になってから。「子供たちの笑顔が見たいたからでした。こんにちとは笑う笑顔。練習して今までできなかったことができるようになって喜ぶ笑顔。友達同士で楽しくバレーをする笑顔。試合に勝って大喜びする笑顔。それと私の指導は、言葉が乱雑で指導が厳しく、怒ってばかりでしたので、子供も親も笑顔でいっぱいのチームは素敵だと考え、こんな気持ちがこの『スマイル』に込められているんです」

「練習には団員の父母が当番制で手伝い、卒業生が中学の部活の合間に練習に参加してくれて、そしてバレーを愛するコーチスタッフなど地域の協力があるからこそチームがここまで成長してきたと思います。皆さんの協力を感謝しているんですよ」

「子供たちには、バレーが強くなるだけではなく、それと同時に心も強くなっている」と。そんな願いを込めて原中さんは、今日も子供たちの指導にあたります。

勝するなど道内を代表する強豪チーム・丸山ファイターズ(中標津)を下して初優勝を飾る活躍ぶり。
原中さんの指導のモットー

新 町 民 インタビュー

⑧
あき 明 さん
まさ 正 さん
ざわ 澤 所



「この町に来て
ホタテが大好きに！」

★今月は標津郵便局に勤務している所澤正明さん(南3西1・35歳)にインタビュー。

——出身地は。

出身地は美幌町。前任地は根室市。今年四月から標津郵便局に勤務(局長代理)。

——町の第一印象は。

自然が豊富で、北方領

「ラリ」では皆さんの情熱を、漁業では「地域ハサップ」で、消費者の立場に立った取り組みなど意気込みを感じ、活気のある町ですね。

——食べ物では。

この町に来て、ホタテが大好きになりました。本場の味を知ったことで、今まで食べていたのは「何だったのか」と思うほどです。

——趣味は。

スノーボード。町営金山スキー場の今シーズンのオープンが待ち遠しいです。地元にもスキー場があることはいいですね。

——町民の皆さんにひと言。

皆さんに気持ち良く、郵便局を利用してもらうために、頑張っていきます。

土・国後島が間近に見えるというのが第一印象でした。
——住んで見ての印象は。
皆さんとても親切で、温かみのある住みやすい町。イベントでは、ホタテ祭りやあきあき祭りに局員として参加していますが、町内外から多くの人々が訪れていることに驚いています。
また、町民祭り「水・キ

色々な職業が山ほどあったのでおどろきました。その中で、私は裁縫が一番好きなのでファッションデザイナーになりたいと思いました。

小さい時から、アイデアを出して、小物やぬいぐるみを作るのが好きでした。今度、洋服に挑戦してみたいと思います。



伊藤 千佳さん
(北標津小6年)

「FOR JAPAN」

●次号は、標津小学校の児童の「夢」を紹介します。

私の将来の夢は、ファッションデザイナーになることです。

ある日の道徳の時間に先生が「好きなこと」職業だったら最高だね」という話をしました。私は、なんだったので『十三歳のハローワーク』という本を読んでみました。

私の祖父は昔から洋裁をしていて、小さいころよく服を作ってくれました。私もそれを見ていろいろな人に作ってあげたいなと思うようになりました。

私がファッションデザイナーになれたらやってみたくことが二つあります。一つは、日本中の人に私の服を着てもら

「町民とのふれあいを大切に」

野口 千春さん
(南5西1・19歳)



休日は、ショッピングのほか、実家への帰省がほとんど。「せっかく標津にいたので、標津でしかできないことを見つけたいですね」

若さでアタック

YOUNG MAN/WOMAN

森 林管理署が主催する森林公開講座は、自分にとって地元町民とのふれあいの場。町民とのふれあいを大切にしていきたいです」と話す野口さん。

地元帯広市の農業高校卒業後、昨年四月から釧根東部森林管理署に勤務。職場では収穫調査など現場が主な担当。「思った以上に現場に行くことが多いですね。まだ山に慣れていないので大変です」

達者なじいちゃんばあちゃん

Ji-chan Ba-chan

「歌が健康のバロメーター」

宗形 正八さん
(南2西1・86歳)



歌が健康のバロメーターなんです。上手く歌えれば健康で、上手く歌えなければ体の調子が良くないのかなど。でも、多少調子悪くても歌えば治るような気がする

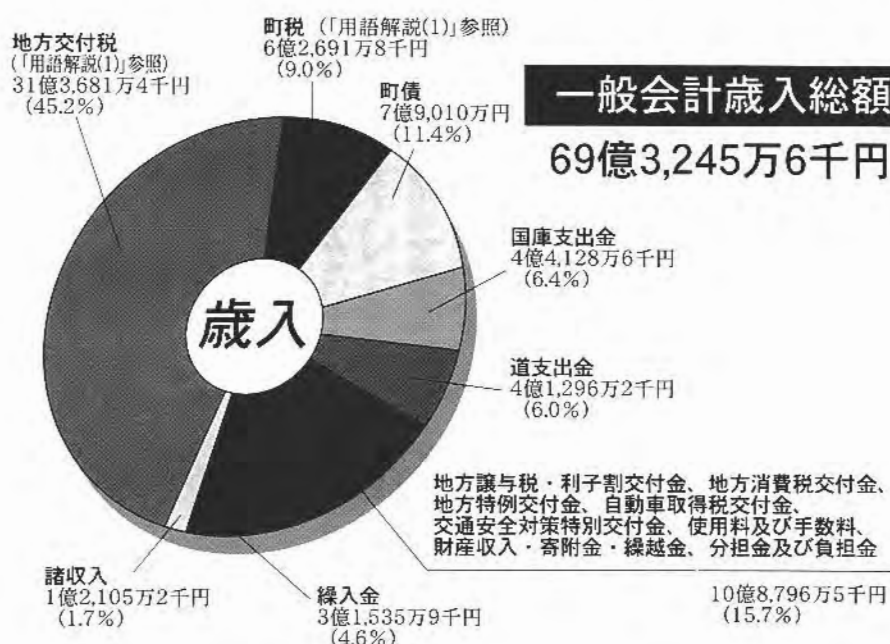
「今まで誰にも迷惑をかけないように真面目に過ごしてきました。自分の生活は自分で守ることをモットーとして、過ごしていきたいですね」

「宗形さん。宗形さんの趣味はカラオケ。月に四・五回はスナックに通い、酒は最初の一杯のみで、戦後の歌謡曲を二十曲ほど歌っているそうです。また、所有する山林の枝払いなどを行うため、山林までの片道六キロを歩くなど体も動かししており「体力には自信があります」と話します。

平成
15年度

決算報告

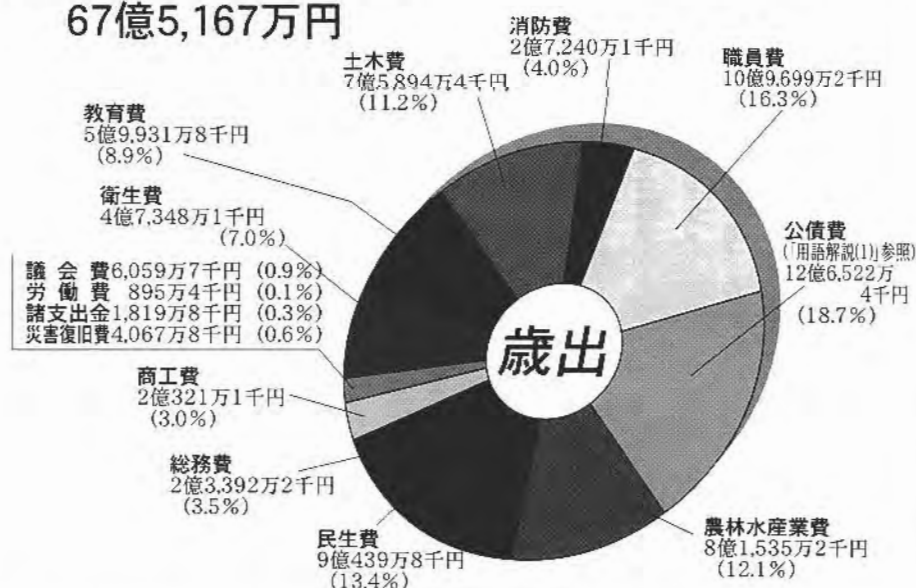
平成15年度の一般会計と特別会計の決算がまとまりました。予算執行にあたっては、経費全般にわたり徹底した節減と合理化を基本に将来を見据えた財政の健全化に努めました。



一般会計歳出総額

67億5,167万円

※ () は全体に占める割合



●歳入歳出差引額は、1億8,078万6千円ですが、このうちの1億1,383万5千円は平成15年度から平成16年度に繰り越して行う事業に充てるもの(繰越明許費)であり、これを除く実質の黒字額は6,695万1千円となります。

一般会計の解説

▷歳入総額の約半分を占めている地方交付税は、平成14年度比較で2億2,032万円の減に。これは、地方交付税の財源となる国税5税が、長引く景気低迷の中で、税収減となったほか、国の行財政改革などにより市町村への配分方法も見直され、減額されました。今後も国の三位一体の改革により、地方交付税はさらに削減されることが予想されます。

町が独自に調達する貴重な自主財源である町税は、平成14年度比較で2,023万円の減に。景気の低迷などから、町民税(個人)の伸び悩みが主な要因です。

▷歳出全体では、平成14年度比較で5億6,281万円の増に。主な要因として、川北小学校と標津中学校の2線校舎改築事業や健康と福祉の村施設拡充事業(デイサービスセンターの増築)の実施によるものです。

用語解説(1)

●町税…町民税、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税、特別土地保有税をいう。

●地方交付税…国税5税(所得税、法人税、酒税、消費税(一部除く)、たばこ税)のそれぞれ一定割合の合計額で市町村が等しくその行うべき事務を遂行することができるよう、一定の基準により国が交付する税をいう。

●公債費…町が事業を行うために借り入れた地方債(町債)の元利償還金および一時借入金利子の合算額をいう。公債費は町税、交付税のほか町の公営住宅などの使用料収入などを財源として償還されます。

経常収支比率とは、地方税や地方交付税など使途が限定されず毎年入ってくる財源に対する、人件費など必ず支出しなければならない経費の割合をいいます。

数字が低いほど財政に柔軟性があることを示します。

本町は80.0%(平成15年度決算)で、全道212市町村の

経常収支比率は **80.0%**

中では37番目に良い数値になっています。一般的に80%以下が望ましいとされています。(全道市町村の平均は88.2%)

今後も国からの地方交付税が年々削減される傾向から、この数値が高くなっていくことが予想され、厳しい町の財政運営が余儀なくされています。

特別会計決算

(単位：千円)

会計別	区 分	決 算 額	
		歳 入	歳 出
特 別 会 計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	785,718	785,718
	介護保険特別会計(事業勘定)	271,008	260,821
	介護保険特別会計(サービス事業勘定)	39,740	39,740
	老人保健特別会計	666,779	672,909
	簡易水道特別会計	185,864	184,458
	下水道特別会計	441,680	441,680
	金山地域休養施設等特別会計	16,674	16,674
	サーモンパーク特別会計	177,423	177,423
	用地取得特別会計	3,017	3,017
	病院会計	798,659	839,915
計		3,386,562	3,422,355

●財政調整基金：予期しない収入減少や不時の支出増加などに備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うための基金。
●減債基金：町の借金(公債費)の償還を計画的に行うための資金を積み立てる基金。
●萌える海と大地・さわやか交流創生基金：町民の自主的なまちづくりや研修交流事業費に充てる基金。今までに景観づくりや町民祭りなどに活用。国から交付された「ふるさと創生一億円」はこれに積み立てている。

用語解説(2)

借金(公債費)は…
町民1人あたり

36万円

平成15年度末現在の町の借金残高(一般会計)は、72億6,825万1千円(A)です。

ただし(A)のうち、公営住宅使用料や、貸付金に係る元利金収入など返済財源となるものが、9億2,978万円(B)。小中学校や道路の整備、災害復旧などのために借り入れた町債の返済のために国から地方交付税で交付されるのが、41億4,583万5千円(C)あります。

従って、(B)と(C)の合計50億7,561万5千円が償還財源として補てんされることから、実際の借金は(A)からこの金額を差し引いた21億9,263万6千円となります。

人口(平成16年4月1日現在の人口6,184人)で割った町民1人あたりの借金残高は、35万5千円になります。

貯金(基金)は…
町民1人あたり

56万円

平成15年度末現在の町の貯金(基金・一般会計)現在高は34億5,789万4千円。町民1人あたり55万9千円になります。内訳は次のとおりです。

貯金(基金)の内訳

(単位：千円)

基 金 名	平成15年度末現在高
財 政 調 整 基 金	501,081
減 債 基 金	642,128
萌える海と大地・さわやか交流創生基金	339,894
交通安全対策基金	5,100
特 標津線代替輸送確保基金	492,449
定 社 会 福 祉 基 金	149,112
目 健康と福祉の村建設基金	102,575
的 廃棄物処理施設建設基金	361,325
基 酪肉経営振興対策基金	380,002
金 緑 の 基 金	39,030
水 産 振 興 基 金	243,645
教育施設等建設基金	73,030
体育文化振興基金	128,523
計	3,457,894

※下線は「用語解説(2)」参照

健康
いちばん!

加瀬 久子 保健師

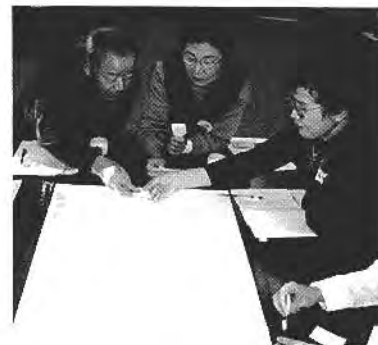


Hisako Kase

《今月のテーマ》
「めだかの学校」
で健康づくり

昨年十一月八日に第一回
目の「健康づくり地域推進
会」を開催しました。

会議は町内会役員、町内会
連合会役員、健康づくり推
進員、体育指導員、老人ク
ラブ会長などを対象に、昼の部
を川北ふれあいセンター(写真)
で、夜の部を保健福祉セン
ターで実施しました。



この会議は、標津町は国民
健康保険医療費の延びが高く
なったため、平成十五年度か
ら国保事業運営の安定化を図
る必要性がある町として「準
指定市町村」に指定されたこ
とから、北海道の支援を受け
て実施したものです。

■気案に参加できる会議でした
会議は、函館短期大学の齋
藤教授(ヘルスプロモーション
の第一人者)を招き進めら
れました。

教授の話は三十分くらい
で、主にはグループに分かれ、
教授から与えられたテーマに
ついて話しをするという進め
方でした。このような会議の
方法に慣れておらず戸惑った
方もおられたとは思いますが、
それぞれが気楽に話をで
きて良い会議であったという
感想もいただきました。

■健康づくりは「すずめの学
校」? 「めだかの学校」?
教授は健康づくりの推進方
法について、次のように説明
されました。

「すずめの学校」のように
「♪むくちを振り振りチーパ
ッパ♪」ではなく、「めだか
の学校」のように「♪だくれ
が生徒か先生かー♪」という
ように、これからの時代は、
町民の皆さんは健康づくりを
行政に任すのではないけない。
町民の皆さん、行政(保健福
祉センター以外の部署を含
む)など、いろいろな分野の
人たちが、知恵を出し合い連
携を取り合いながら、健康づ
くりに取り組むことが重要で
あると話されました。

■そもそも健康ってなに?
「どんな町が健康な町なの?」
会議の中でグループに与え
られたテーマは「町の健康問
題」「健康とは」「健康な町の
イメージ」の三つでした。
会議の中ではたくさん話が
が出され、一部分について
「表1」のとおり紹介します。

を進めたいと考えています。
今後ともよろしくご協力お願
いします。
【お知らせ】
健康づくり推進地域会議の
二回目を次のとおり開催しま
す。

①昼の部/一月二十四日(月)、
川北ふれあいセンター、十
三時~

②夜の部/一月二十四日(月)、
ひまわり、十八時三十分~
*悪天候の場合は一月二十六
日(水)に変更します。

*対象となる方にはご案内し
ますが、その他関心がある方
はぜひご参加願います。

二回目は講演会はありません
が、「こんな町にしたい。
そのためにできることのア
イディアを出そう」という内容
です。

表1

1. 町の健康問題としてどんな ことがあると思うか?

- ・高血圧の人が多い
- ・塩分とりすぎ?
- ・ジュース類を多く飲む
- ・すぐに車を使う
- ・歩いている人が少ない
- ・昔すごく働いてきた人ほど、膝
や腰が痛いようだ
- ・勉強会があっても、参加者が少
ない など

2. そもそも健康って何?

- ・食事がおいしい
- ・快食快眠
- ・運動ができる
- ・多少の無理ができる
- ・笑って暮らせる
- ・趣味がある
- ・行きたい所へ行ける
- ・おしゃべりができる
- ・仕事ができる など

3. 健康な町のイメージとは?

- ・景気がよい、活気がある
- ・皆が仲間になれる
- ・子供をよく見かける
- ・声かけ、あいさつができる
- ・ジョギング、ウォーキングをして
いる人が多い
- ・子供に夢が持てる
- ・水、空気が美味しい
- ・犯罪がない、交通事故がない など

町税納期内納入完納者・紹介

平成15年度までに町税を納期内に完納された方々を紹介します。

●二十年間完納者(四十三人)

【標津】▽神林由五郎▽今トヨ子▽今源浩▽佐藤きよ子▽稗貫明美▽南弘▽若杉京子▽工藤琴子▽今野修身▽佐藤美重▽前田敏博▽島影政次▽田中長治▽中野武二▽今野昇▽佐藤幸悦▽小野瀬稔之【川北】▽宮川光▽蔭山美智夫▽榎木孝男▽成田昭▽西田一義▽小田嶋亨悦▽滝本昇▽福沢良子▽今井和善▽大屋知行【北標津】▽伊藤富士子▽大桃悦子▽行田晋市▽田中嘉▽塚田八重子【茶志骨】▽田中弘年【住吉町】▽金田秀▽林策弥【浜古多糠】▽森岡亨【薫別】▽梅木芳子▽本間昭男【崎無異】▽中野満【古多糠】▽吉田栄▽吉田孝一▽田村憲夫▽

●三十年間完納者(三十四人)

【標津】▽梅野克之▽金田功▽金田悦子▽荒屋勝昭▽佐々木力也▽杉山廣▽工藤晃▽本村順市▽古田稔▽本間力雄▽岡部弘▽田邊直人▽板垣栄一▽岡野浩二【川北】▽小山昭之▽古瀬祐示郎▽奥勝義▽木庭繁男▽合田美恵▽高橋義一▽千葉隆久▽阿部進道【北標津】▽谷健一【茶志骨】▽上田勇太郎▽佐藤富雄▽更谷政廣【東浜町】▽木村薫▽本村シゲ【伊茶仁】▽村山英雄▽吉田清一郎【忠類】▽田中利【崎無異】▽片山豊彦【古多糠】▽境モト▽草野藤五郎

●五十年間完納者(五人)

【川北】▽森本政好▽林長松【古多糠】▽小林キヨミ▽近藤儀之進▽竹村春雄

※「」は地区名。敬称略

戸籍の窓口から

(11月11日～12月10日届出分)

■ご結婚おめでとう

皆川 修一さん・大山紫保香さん(東浜町)
櫻井 孝裕さん・山崎 淑子さん(西川北)

■お誕生おめでとう

〈保護者〉
松本 薫くん(本町) 茂・悟美
加藤 大輝くん(共栄旭町) 義章・瞳
品川 真彩ちゃん(弥栄町) 貴之・美智子
遠嶋 嶺くん(新川上町) 弘人・有貴
上田 礼花ちゃん(望ヶ丘町) 高弘・薫

■おくやみ申し上げます

高橋 正夫さん(曙町) 74歳
渡部 宏さん(忠類) 77歳
竹村 春雄さん(上古多糠) 86歳

寄付・寄贈 ありがとうございました

●社会福祉基金として町に――

・角田順子さん(斜里町)

●町社会福祉協議会に――

・疋田敏一さん
・長谷川ヨシミさん
・曙町内会
・聖友標津支所
・長谷川雅章さん

●はまなす苑に――

・浜田次臣さん(羅白町)
・竹村誠司さん

・館キエさん(羅白町)

・下地ヤスさん

・小林理容店

●標津病院に――

・菊池さゆりさん
・永野孝浩さん(別海町)

1月の健康相談日程

●乳幼児相談

28日(金)

[9時～10時・13時30分～14時30分/ひまわり]

※午前の部～13ヵ月児 午後の部

～4・7・10ヵ月児対象

●2歳児相談

28日(金)

[9時～10時/ひまわり]

※その他の健診・相談は個人通知します。

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)まで。

BOOK ROOM



「世界が完全に思考停止する前に」

森達也著 角川書店

私たちが日々接しているメディアは真実を伝えているのか？映像関係者でもある著者が、イラク戦争・拉致問題・オウム事件などの報道を通して私たちに問いかける。真実とは何なんだろう。この本を読むと、ニュース番組や新聞の見方も少し変わるかもしれません。

「いのちの夢―難病の子どもたちが願ったこと―」

矢貫隆著 草思社

「憧れのウルトラマンに会いたい」「ディズニーランドに行きたい」「イルカといっしょに泳ぎたい」そんな夢を持った難病の子どもたち。そして、その夢を実現しようとしたボランティア団体「メイク・ア・ウィッシュ」の物語。世の中にはすごい人がいるものです。



今月の特集：映画・ドラマの原作本特集

昔流行った言葉に「読んでから観るか、観てから読むか」があったと思いますが、今月は、映画やテレビの原作本を展示します。「セカチュウ」「冬ソナ」から「ハウル」まで、新しい感動があるかもしれません。

《新着図書紹介》

「動物記」

新堂冬樹著 角川書店

「マイケル・ムーアへー戦場から届いた107通の手紙―」

マイケル・ムーア著 ポプラ社
「無為のカーマイナスがプラスに変わる考え方―」

河合隼雄・谷川浩司著 PHP

「中国の蟬は何と鳴く？」

山口仲美著 日経BP

「豊かな石油時代が終わる―人類はどこへ行くのか―」

日本工学会アカデミーほか編 日本工学会アカデミー

「働きながら書く人の文章教室」

小関智弘著 岩波書店

「そして僕は学校に帰った―不登校からの帰帰―」

大橋博ほか著 AG出版

★図書館 ☎ 2-2074

1月のごみ収集日

一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	可燃ごみ	不燃ごみ 粗大ごみ	資源ごみ 空き・びん・ペット ボトル・トレイ・ 新聞・雑誌	資源ごみ 容器包装(紙) 容器包装(プラ) 紙パック・段ボール
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	8日(土) 22日(土)	19日(水)	13日(木) 26日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	6日(木) 20日(木)	17日(月) 31日(月)	11日(火) 24日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘 町・桜木町・住吉町・東浜町	火・金	7日(金) 21日(金)	18日(火)	12日(水) 25日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

スポーツ

☆ 1月のスポーツ ☆

■6日(木)・7日(金)

ヨチヨチスケート教室

[9時30分・11時30分～川北リンク]

スイスイスケート教室

[11時・15時～町営リンク]

■9日(日)・16日(日)

ファミリースキー教室

[10時～金山スキー場]

■20日(木)・21日(金)

初心者スケート教室

[15時～川北リンク]

■22日(土)・29日(土)

ミニテニス教室(ビギナー)

[10時～総合体育館]

■22日(土)・23日(日)

第1回道東小学生距離別スケート選手権大会

[22日/8時30分～町営リンク]

[23日/9時～同]

■23日(日)

第1回新春ソフトバレーボール大会

[9時30分～総合体育館]

■23日(日)・30日(日)

基礎スキー講習会

[10時～金山スキー場]

■24日(月)・25日(火)

初心者スケート教室

[15時～町営リンク]

■29日(土)・30日(日)

スポーツ選手ふれあい指導事業

[29日/16時～総合体育館]

[30日/9時30分～同]

し尿

し尿の汲み取りの申込みは忘れずに

2月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申込みください。

■汲み取り実施地域

伊茶仁、忠類、浜古多糠、薫別、崎無異

■申込期限 1月25日(火)

★申込み・お問い合わせは、住民課(担当：小野瀬、吉田)まで。

国民年金は、
あなたが
主人公です

みんなで加入し、みんなで支える“国民年金”

2005年も国民年金に いっそうのご理解を!!

国民年金は、働く人々が保険料を出し合って年金を受ける人々を助ける仕組みとなっています。

やがて誰にでも訪れる老後やいつ起こるが分からない万一のために、正しく制度を理解してあなたの老後と障害などに備えてください。

年金加入者全員が25年、300月の受給資格を満たし、一生涯年金を受給することを願っています。

国が運営する、世代と世代の助け合いの国民年金制度に、いっそうのご理解をお願いします。

なお、本町の保険料納付・年金受給状況は次のとおりです。

■被保険者数・納付状況（平成16年9月末現在）

▷被保険者数

2,008人（うち3号 456人）

▷保険料納付額（4月～9月分）

1億1,594万5,130円

■給付状況（平成16年9月末現在）

▷年金受給者

・国民年金 1,293人

・厚生年金 857人

・船員保険 1人

・合 計 2,151人

▷年金受給額

13億1,118万2,300円

◇

雇用保険（失業保険）該当の場合は、国民年金保険料の免除申請が適用されます

申請の際には、雇用保険被保険者離職者票または雇用保険受給資格者票が必要です。

社会保険事務所相談開設日

▷日時 1月18日(火)～19日(水)

18日/午後1時～午後5時

19日/午前9時～午前11時30分

▷場所 中標津経済センター

※ご本人や配偶者の年金記号番号、加入期間などを調べてお越しください。

★相談・問い合わせは、お気軽に福祉課（国民年金担当：杉本）まで。

福祉

町外通院のための 通院交通費を助成

町では、特定疾患（難病）などで道から医療費受給者証の交付を受けている方を対象に、平成16年における治療のために町外の医療機関への通院に要した交通費の一部を助成しています。

■申請期限 2月4日(金)

★申請・お問い合わせは、福祉課（担当：蟬山、上田）まで。

入札

競争入札の参加者 受付けします

根室支庁では、平成17～18年度に道が発注する建設工事や物品購入、ボイラーなどの運転操作、清掃・警備及び消防点検設備などの競争入札に参加を希望される方の資格審査申請を受け付けています。

■受付期間

・第1回…1月13日(木)～21日(金)

・第2回…2月1日(火)～10日(木)

■受付時間

午前9時30分～午後4時30分

■受付場所

・建設工事など…同支庁2階研修室
・物品購入など…同支庁会計課
・清掃・警備など…同支庁総務課
～集中受付を実施します～

■受付日時

1月18日(火)

午前9時30分～午後4時30分

■受付場所

中標津町総合文化会館

★申請・お問い合わせは、建設工事・物品購入などは同支庁会計課（☎0153-24-5430）、清掃・警備などは同支庁総務課（☎0153-24-5414）まで。

町長の動静（11月21日～12月20日）

【11月25日】

北海道町村会正副会長会議ほか（札幌市）

【11月26日】

管内主要懸案事項要望（札幌市）

【11月30日】

道路整備の促進を求める全国大会（東京都）

【12月1日】

全国観光地所在町村協議会総会（東京都）

【12月2日】

全国町村長大会（東京都）

【12月3日】

民生児童委員退任者に対する感謝状贈呈、新民生児童委員への委嘱状交付

【12月6日】

道市町村職員共済組合議員協議会（札幌市）

【12月7日】

道市町村職員共済組合組合会（札幌市）

【12月9日】

標津俵橋大規模草地一部事務組合議会・根室北部衛生組合議会、根室北部消防事務組合議会・中標津町外2町葬斎組合議会（中標津町）

【12月10日】

標津町表彰式

【12月17日】

標津建設業協会協議会

（以上主なもの）

紺

の背広とえんじのネクタイ、焼きサ

ンマと大根おろし

。これからの時代は、新し

いものを求めることより「組

み合わせ」が大事だと思いま

す。いい材料はたくさんあり

ますが、活かされてないもの

(こと)も少なくありません。

標津町は鮭のふるさとです。

でも、ここ数年、水揚げ全国

一の座を明け渡しています。

カムバックサーモン!そして、

町民の皆様には、カム

バック我がまちの商店(街)へ!というのが、商工業者といっしょに仕事をさせていた

への対応、会話やふれあい、活き活き感の醸成、循環型システムの確立などがキーワードになると思います。

だいて私の思いです。

先月(十一月)、商工会女性部が、参加者の気持ちが一

つになる切り口を模索してい

がら、「住民チャリティ 我が青春歌鑑賞会」を企画

し開催しました。そのときの

組み合わせは、想い出(エピソード)と歌、復刻盤による

原曲と生バンド演奏、そして

チャリティです。

新しいものは次々と出てき

ますが、私たちが気付かなか

ったり忘れてしまったりして

いるだけで、もともといいの

があります。それらを掘り

出して遊び心に組み合わせる

ことは、考えるだけで楽しい

ですが、柔道でも、立ち技と

寝技で、技ありが合わせ

技一本になりますからね

。。

▽次の「まちの声」は、植野

丈夫さん(南2西1)です。

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

☆標津町民憲章☆

(昭和46年11月3日制定)

◇健康で働き楽しい家庭をつ

くりましょう。

◇自然を愛し美しい郷土をつ

くりましょう。

◇たがいに助け合い暖かい社

会をつくりましょう。

◇心を豊かにし文化を高めま

しょう。

◇子どもの夢を育て平和な町

をつくりましょう。

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

◇

編集のまど

▽新年明けましておめでとうござい

ます。昨年は本町出身の大宮選手が冬季と夏季を

通してのオリンピック出場の快挙を成し遂

げ、私たち町民に勇気と希望を与えてくれ

ました。マさらに北海道では高校野球で駒

大苫小牧高が見事全国制覇の快挙。今でも

夢のように思えて、信じられないのは私た

けでしょうか。▽彼らのモットーは「一人

は全員のために、全員は一人のために」。苦しい場面ではマウンド上にみんな集ま

り、大空を見上げながら人差し指を突き上

げていたのがとても印象的でした。▽今年

はこのモットーを見習って頑張っていきた

いです。標津町にとって良い年になります

ように。。

▽皆さんは正月をどのように過ごされます

か? サーマン科学館では、帰省で正月

を町内で過ごす方や普段なかなか来館でき

ない方などのために、一月一日から三日ま

での正月三箇日を「特別開館」します。開

館時間は、午前10時から午後3時までで、

シロザケのふ化の様子を間近で観察できる

ほか、知床沿岸に住む魚たちを見ることが

できます。入館料は通常の半額となります

ので、ご家族または帰省した友人などお誘

い合わせの上、ぜひ楽しんでみてはいかがでしょうか。

(A)

2月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。

■日時 2月1日(火)13時30分～

■場所 川北生涯学習センター

★お問い合わせは、住民課まで。

町内の交通事故

・人身事故 3件 (14)

・負傷者 2人 (20)

・死亡者 1人 (1)

・物損事故 19件 (169)

◇平成16年11月1日～11月31日まで
()は累計

・人口 6,243人 (-1)

・男 3,043人 (±0)

・女 3,200人 (-1)

・世帯数 2,381世帯 (+3)

◇平成16年12月1日現在
()は前月比

人のうごき